事業所名

クラブかたつむり

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

20 日

法人（事業所）理念		障害者およびその家族が生きがいをもち、しあわせに暮らせる社会の実現をめざす。とりわけ聴覚障害者の自立、情報保障について質の向上を図るように努める。								
支援方針		放課後や休日になかまが安全で安心して集まれる場所を提供する。 個々のなかまに応じたコミュニケーション手段を選択し、さまざまな遊びや体験、なかま同士の関わりの中で成長できるよう、なかま、保護者の思いに寄り添い支援していく。								
営業時間		平日 学校休業日	13 9 時	30 45 分から	18 16 時	0 30 分まで	送迎実施の有無	あり	平日 休日	・学校へのお迎え ・クラブの最寄り駅、近隣の自宅への送り ・クラブの最寄り駅への送迎
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	〇曜日はかたつむり、という習慣の中で一週間の生活リズムを作る。暑い、寒い、元気、疲れた、など自分の状態を伝えたり状況に合わせた過ごし方ができるよう声かけをする。								
	運動・感覚	外遊びなどの体を動かす活動を通して、遊びの中で自然と体力の向上やバランス感覚、周りを見る力を育む。異年齢のなかまと一緒に過ごす中で上級生の遊び方、過ごし方にあこがれ、真似をし、成長への意欲を育てる。								
	認知・行動	季節のイベントなどを通して季節の変化や文化を知る。自分の物、みんなの物という認識を持ちお互い大事にする気持ちが持てるようにする。								
	言語 コミュニケーション	手話、指文字、身振り、絵、文字などなかまの成長段階に合わせたコミュニケーション手段を用い、自分の思いが伝えられる、相手のことが分かる経験を積み重ねていく。								
	人間関係 社会性	集団での活動を通し、自分を分かってもらい喜び、一緒にたのしみ喜びを知る。一見、集団活動に参加していないように見えても近くになかまの存在を感じている様子などを見逃さず、なかまがいることがうれしいことだと思える社会性を育てる。								
家族支援		対面、電話、メール等いつでも相談しやすい環境をつくる。聞こえない保護者の集まり、イベント参加など、保護者同士が顔を合わせ情報交換、相談ができる機会も積極的につくる。			移行支援		相談支援事業所や保護者とも情報を共有し、実習時のコミュニケーションについて普段のなかまの様子などを伝えたりしている。			
地域支援・地域連携		なかまが社会の中でより多くの方に見守られながら育っていけるように、地域の行事に出かけていったり、事業所のお祭りへの参加を呼びかけたりしている。地域の居場所作りのためにクラブの庭や空き部屋を提供することもある。			職員の質の向上		毎日の打ち合わせと振り返りでなかまの様子や変化を共有する。内部外部の研修に参加し学びを共有する。そのことで自分の思いだけで支援することなくチームでなかまを支援していけるように心がけている。			
主な行事等		毎月の季節の行事。運動会。お祭り。法人内イベント参加。卒業した先輩のおはなしをきく会。田中食堂。お出かけ。								